

# 自分自身を生きるようになって 改善した40代女性の貧血のケース

ホメオパシーセンター福岡青葉  
JPHMA認定ホメオパス 安藤 久美子

## 【主訴 症状】

40代 女性

毎年受診している健康診断にて、  
貧血と脂質代謝異常を指摘された。

|       | 赤血球数 万/ $\mu$ ℓ | 血色素量 g/dl | ヘマトクリット値 % |
|-------|-----------------|-----------|------------|
| 2023年 | 477             | 9.4       | 32.2       |
| 判定    | E               |           |            |

## 【主訴 症状】

健康診断にて貧血を指摘されたというだけで  
自覚症状はほとんどない

言われてみれば、、、  
時折立ち上がる際に立ちくらみのような  
一瞬くらっとすることがある程度である

## 【経緯とタイムライン】

現在中学2年生の長男が2歳時、  
当センターにアトピー性皮膚炎と  
アレルギーにてご相談される  
長男がアトピー性皮膚炎やアレルギーが改善したため  
ご自身の健康増進のために引き続き  
定期的にご相談を続けている。

## 【経緯とタイムライン】

結婚後、義父母と同居

男児出産 普通分娩

妊娠中に子宮ポリープを指摘され、摘出手術

現在 夫と息子、義母と同居

昨年義父が他界

週1回～2回 ママさんバレーの練習

## 【手法とレメディー選択】 および 【結果】

- ・ 普段はそれほどでもないが、  
ここ2週間くらい、立ち上がる際に立ちくらみみたいな  
一瞬くらっとする症状が続いた。  
健康診断にて貧血がE判定だったということだったので、  
その原因として、経血量がわりと多いこと、  
妊娠中に子宮ポリープがあったことなどから、  
子宮筋腫の可能性を踏まえてレメディー選択とした。  
(QX-SCIOにも子宮からの出血の示唆あり)

## 【手法とレメディー選択】 および 【結果】

### 1回目

随時 液) サポート筋腫+Cupr6C(貧血に)+  
Ferr-p.12x+Kissyo-w30C(血液の状態を正常化する 血液の状態を安定させる)  
+Kojyo-w30C(他者から認めてもらえない悲しみ。評価されない悲しみが癒える。)

朝・夜 Bell-p. 6C (深部の組織の傷や出血に)

## 【手法とレメディー選択】 および 【結果】

### 1回目結果

→立ちくらみの症状はそれほど気になることは無いが、  
疲れやすい傾向がある。

月経に関しては経血量はやはり年齢のわりには多い。  
痛みなどは無い。

## 【手法とレメディー選択】 および 【結果】

### 1回目結果

同居のため、それがストレスになっている。

義母がいろんな野菜を近所からもらってきて、

それが使われることなく冷蔵庫に溜まっていくのがストレス。キッチンも遠慮して使う。

バレーボールをしていて右手、右肩の痛みがある。

張っている感じがあり、痛む方を下にして寝ると痛い。

# 【手法とレメディー選択】 および 【結果】

2回目

随時 MTクエカス(出血しやすい傾向 慢性貧血 倦怠感)

+Mang-s 12X(衰弱、疲労、貧血に)+Ferr-p.12x(鉄欠乏貧血に)+Ph-ac.(疲労困憊に)

朝・夜 Kali-c LM2 (TBRより)

TBR The Bonnghausen Repertory にてレメディーを選択

1：#1340 血の気のない(鉄欠乏性貧血)

2：#257 体肢 上肢 肩 肩の関節

3：#2035基調 側面を下にする 痛む方を

4：#660 循環の低下(不十分)

5：#1158 全般 弱さ（無力症、無気力、衰弱）だるさ（疲労や飽き・退屈）

6：#581 呼吸器 咳全般

候補レメディー Sulf.Calc.Sep.Chin. Staph. Phos. Nux-v.Lyc.Kali-c.Ign.

## 【手法とレメディー選択】 および 【結果】

### 2回目 結果

→風邪症状が悪化して咳がひどくなっていて、頭痛で動けないことがあった。

夜だけ最高38.8℃の発熱と頭痛があった。

月経は概ね順調だが、経血量は多めの傾向がある。

疲れやすい。

肩の状態はわりと良い。痛みというより、肩凝りの違和感程度になった。

## 【手法とレメディー選択】 および 【結果】

### 3回目

随時 MT)アヴィナサティーバ(病後の衰弱 栄養不足に)

+ Cupr.6C (貧血)+ Ferr-p 12X (鉄欠乏性貧血)

+ Calc.(カルシウムによる貧血)12X + Ham(静脈の出血)12X

朝・夜 Ham LM02

静脈の特に直腸、生殖器、四肢などの静脈性うっ血や出血を起こす  
貧血のさまざまな原因の可能性を考え、選択する。

## 【手法とレメディー選択】 および 【結果】

|       | 赤血球数 万/ $\mu\ell$ | 血色素量 g/dl | ヘマトクリット値 % | 判定 |
|-------|-------------------|-----------|------------|----|
| 2023年 | 477               | 9.4       | 32.2       | E  |
|       |                   | ↓↓↓       |            |    |
| 2024年 | 488               | 12.9      | 41.0       | A  |

# 【手法とレメディー選択】および【結果】

| 検査項目   |                       | 参考基準値               | 今回            | 前々回          | 判定      | 判定 |
|--------|-----------------------|---------------------|---------------|--------------|---------|----|
| 健康受診者  |                       |                     | 2024. 06. 26  | 2023. 08. 07 | 判定      | 判定 |
| 受診番号   |                       |                     | 300082        | 240089       | 判定      | 判定 |
| 年齢     |                       |                     | 49歳           | 48歳          |         |    |
| 計測     | 身長                    |                     | 156. 5        | 156. 1       |         |    |
|        | 体重                    |                     | 56. 1         | 56. 8        |         |    |
|        | 標準体重                  |                     | 53. 9         | 53. 6        |         |    |
|        | B M I                 | 18. 5~24. 9         | 22. 9         | 23. 3        | A       | A  |
|        | 体脂肪率                  | %                   |               |              |         |    |
| 血圧     | 収縮期 1/2/平均            | 130未満 mmHg          | 118 113 116   | 111 108 110  | A       | A  |
|        | 拡張期 1/2/平均            | 85未満 mmHg           | 73 73 73      | 69 69 69     | A       | A  |
| 糖代謝    | 血糖 (空腹)               | 99以下 mg/dl          | 95            | 88           |         |    |
|        | 血糖 (随時)               | ~ 139 mg/dl         |               |              |         |    |
|        | ヘモグロビンA1c (NGSP)      | ~5. 5 %             | 5. 4          | 5. 5         | A       | A  |
|        | 尿糖                    | (-)                 | (-)           | (-)          |         |    |
| 脂質     | 総コレステロール              | 140~199 mg/dl       | ↑ 226         | ↑ 211        |         |    |
|        | 中性脂肪 (空腹)             | 30~149 mg/dl        | 58            | 64           |         |    |
|        | 中性脂肪 (随時)             | 30~174 mg/dl        |               |              | D       | B  |
|        | HDLコレステロール            | 40~ mg/dl           | 73            | 63           |         |    |
|        | LDL/non-HDL           | 60~119/90~149 mg/dl | ↑ 141 / ↑ 153 | ↑ 135 / 148  |         | /  |
| 肝機能    | AST (GOT)             | ~30 IU/l            | 15            | 15           |         |    |
|        | ALT (GPT)             | ~30 IU/l            | 9             | 8            | A       | A  |
|        | γGT (γGTP)            | ~50 IU/l            | 13            | 14           |         |    |
| 貧血     | 赤血球数                  | 360~489 万/μl        | 488           | 477          |         |    |
|        | 血色素量                  | 12. 1~14. 5 g/dl    | 12. 9         | ↓ 9. 4       | A       | E  |
|        | ハマトクリット値              | 35. 5~43. 9 %       | 41. 0         | ↓ 32. 2      |         |    |
| 腎機能    | クレアチニン                | ~0. 70 mg/dl        | ↑ 0. 74       | 0. 68        | A       | A  |
|        | eGFR                  | 60以上 mL/min         | 65. 2         | 72. 0        |         |    |
| 尿      | 尿蛋白/尿潜血               | (-) / (-)           | (-) / (+-)    | (-) / (-)    | C       | A  |
|        | 尿酸                    | 2. 1~7. 0 mg/dl     | 5. 1          | 3. 7         | A       |    |
| その他の項目 | ABC検診                 |                     |               |              |         |    |
|        | ペプシ/ピロリ               |                     |               |              |         |    |
|        | 尿素窒素                  | 8. 0~22. 0 mg/dl    | 13. 4         | 10. 2        | A       | A  |
|        | 白血球数                  | 3001~8499 /μl       | 3700          | 4000         | A       | A  |
| 心電図    | 血小板                   | 14. 5~32. 9 万/μl    | 21. 6         | ↑ 33. 4      | A       | B  |
|        | 所見                    | No. 30082           | 異常なし          | 24089        | 異常なし    | A  |
| 眼底     | 最大3件までの表示と<br>なっています。 |                     |               |              |         |    |
|        | KW / H / S / SCOTT    |                     |               |              |         |    |
| 肝炎     | 所見                    |                     |               |              |         |    |
|        | HBS抗原                 | (-)                 |               |              |         |    |
| 診断     | HCV抗体                 | 判定 1. 0未満           |               |              | (-) A   | A  |
|        | 飲食後時間                 |                     | 14. 0         | 15. 0        | 陰 0. 10 | A  |
| 診察     | 溶血/乳ビ                 |                     |               |              |         |    |
|        | メタリックシントローム判定         |                     | 非該当           | 非該当          |         |    |
| 他覚所見   | 他覚所見                  |                     | 所見なし          | 所見なし         | A       | A  |
|        |                       |                     |               |              |         |    |

糖代謝

| 検査項目 |          |
|------|----------|
| 前    | 前立腺がんPSA |
| 大腸がん | 便1日目     |
| がん   | 便2日目     |
| 痰    | ハリスカ     |
|      | 喀痰所見     |

| 検査項目  |          |
|-------|----------|
| 胸部X線  | No. / 区分 |
|       | 所見       |
| 胃部X線  | No. / 区分 |
|       | 所見       |
| 乳腺    | マンモグラフィ  |
|       | 視触診      |
|       | 乳腺エコー    |
| 婦人科   | 子宮がん検診   |
|       | その他婦人科   |
| 腹部超音波 | 所見       |

## 【考察】

貧血とは血液のヘモグロビン量が少なくなっている状態のことを言うが、ヘモグロビンを構成する材料のうちで重要なものが鉄である。鉄が不足することにより、ヘモグロビンが作られなくなり、酸素の運搬能力が下がり全身に酸素が行き渡らなくなる。貧血の主な症状には、倦怠感や疲れやすさ、顔色が青白い、動悸、息切れ、頭痛、めまいなどがある。

## 【考察】

貧血が起こる背景には、「赤血球・ヘモグロビンを作れない場合」と「赤血球・ヘモグロビンを失う場合」の2パターンあり、それぞれ原因が異なる。今回のケースでは、クライアントは女性であり、まず、やや過多月経であることもあり、子宮筋腫からの出血の可能性を第一に考えてレメディーを選択した。同時に消化器系からの出血の可能性や、そもそも鉄の吸収不足の可能性も考えて、相談会を進めていった。

## 【考察】

結婚後は義両親との同居で、キッチンを使うにも遠慮があったりしていたが、そのうち、自身でカフェを経営するという夢を叶えるため着実に準備も始めていたころであった。準備も順調に進んで、無事にめでたく開店という時期と同じくして、1年後の健康診断で貧血の判定がA判定となった。

これは結婚後に同居し、育児等で自分自身を失ってしまっていた結果として貧血という、自分自身を垂れ流しにしている状況が作られたと思われる。

カフェを経営することで、自分自身のキッチンもでき、居場所もできたことで、自分自身を生きるようになり、貧血が改善できた一例だと思われる。

## 【考察】

<貧血は自分自身を生きていないこと>という由井先生という言葉のように、もともとの原因は自分自身を生きていなかったことである。ZENメソッドや水のレメディー、祈りのレメディーをとることによって、かねてからの自身の夢を叶えることが出来るのと時期を同じくして貧血も改善していった。症状などでレメディーを選択していったが、レメディーが入ることにより、自分自身を生きるということをクライアント自身が自ら選んでいった結果、貧血が改善したという、貧血に悩む方には朗報となるであろうケースだと思われる。